

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 5年 3月16日

事業所名 放課後等デイサービスセンター うみねこ塾

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		個別活動のスペースの他、運動用のスペースも確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	6			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		建物の構造上、すぐのバリアフリー化は難しいところがありますが、利用者が安全に活動できるよう配慮をしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		個々の課題や支援上の課題について情報共有を行いながら、その都度話し合っています。	今後も毎日のミーティングや会議などを通し、職員の意見や意向を拾い上げながら、より良い支援ができるよう業務改善を進めてまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者評価で頂いた意見を事業計画に反映し、改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページでの公表及び文書として保護者へ配布をしています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	第三者委員へ事業報告を行い、意見や助言をいただいています。	第三者委員への事業報告ほか積極的なかわりを検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		内部研修を行い、知識の向上に努めました。	職員の専門性向上のため、今後も所内外の研修への参加を進めてまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		半年に1度、保護者と面談を行い、課題・ニーズを把握し、計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	アセスメントシートを作成し、それを基に利用者の状況を把握しています。	標準化されたアセスメントツールについて、内部研修を行ってまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		個別活動や集団活動の立案を話し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		外部講師を招いての各種教室や個別活動、集団活動を行っています。	利用者の状況や課題を踏まえて活動内容の検討をしてまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		平日・休日の活動設定の他、長期休みには行事も実施しています。	個々の状況に応じて活動や課題を設定できるように支援内容の充実を図ってまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		個別活動の他に週替わりの集団活動を行っています。	集団活動への参加が難しい利用者にも参加してもらえるよう活動内容や場の工夫をしてまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		その日の利用人数、活動内容について確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		活動内容や支援状況についてその都度話をして、共有を図っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		個々のケース記録を作成し、成長や行動の変化を基に支援を考案しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを行っています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6		自立支援、創作活動、余暇の提供を組み合わせさせて支援を行っています。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		主担当の職員が出席しています。		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		その都度、学校と連絡を取り合い、情報を共有しています。		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要な利用者はありません。また職員体制等の関係から受け入れもしていません。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		小学1年生を対象に、以前使っていた児童発達支援事業所と密に連絡を取り、支援について情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				移行対象の利用者がいないため、実施しておりません。今後対象者がある場合は行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			必要に応じて専門機関との連携を取りながら支援を行っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				コロナ禍もあり、交流の機会は設けておりません。次年度では状況を見ながら地域イベントの参加等検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				協議会等への参加は行っておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		事業所内相談に加え、迎えの時に必要に応じ、利用者の状況を伝え、理解を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	ペアレント・トレーニングについて内部研修を実施しました。	保護者へのより専門的な支援ができるよう、今後も研修等で学習する機会を検討します。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		相談時に、助言や提案を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				コロナ禍もあり、保護者間の連携の機会は設けておりません。保護者からの要望もありますので、状況を見て、次年度実施をしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		第三者委員の設置及び苦情受付体制を整備しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		ホームページの更新とうみねこ通信の発行を通して活動の様子を定期的に発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6		契約時に個人情報の使用について同意書を記入してもらっている他、外部に氏名や写真が出る場合は個別に確認を行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		連絡帳の他、迎えの際に保護者へ当日の様子を伝えています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				コロナの状況もあり、現在地域住民との交流は行っておりません。今後は感染状況等を見ながら検討していきます。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		各種想定に対してマニュアルを作成しています。今年度はそれに付随した緊急配信メール体制の構築や引渡しカードの作成をおこないました。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に各種想定に対する避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止委員会を設置し、所内研修で虐待防止について職員に周知を行っています。	研修や支援方法の見直し等を通して、今後も虐待防止の意識向上に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		身体拘束適正化マニュアルを作成しています。	現在、身体拘束の必要な利用者はおりません。やむを得ず必要な場合には保護者への説明を十分に行っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		保険調査書にアレルギーの有無について保護者から記載をもらっています。また、年度当初に職員間での情報共有を行っています。	必要に応じて医師からの指示を確認しながら対応していきます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット事例を作成し、職員と共有し、対応策を協議しています。	今後もヒヤリハット事例の共有をし、事故防止に努めていきます。	